

2025年度名古屋大学大学院生命農学研究科博士前期課程入学試験

受 験 専門科目名	食料経済学	この科目について (1) 枚のうち (1) 枚目
--------------	-------	---------------------------------

1. 以下の語句の意味を簡潔に説明しなさい。必要に応じて図などを用いてもよい。

- 1) 土地純収益
- 2) 取引費用
- 3) スマート農業
- 4) ISO
- 5) 農地中間管理機構（農地バンク）

2. 以下の問題群から2問を選択して解答しなさい。必要に応じて図などを用いてもよい。

- 1) 今年の通常国会で食料・農業・農村基本法が改正された。改正された基本法では、食料安全保障が最重要な政策課題とされた。同時に食料安全保障の概念が大きく変更され、世界で一般的に理解されている（国連食料農業機関（FAO）の定義）ものに近いものとなった。新たな基本法での食料安全保障の概念を、従来の概念との違いもわかるように、述べなさい。

- 2) 施肥量と収穫量との関係が右の表のようになっているとする。

- ① 肥料の価格が60円/kgで、収穫物の価格が130円/kgである場合、経済的に最適な施肥量は何kgになるか、100kg単位で答えなさい。

- ② 肥料価格が20%上昇した場合と収穫物価格が20%上昇した場合の最適な施肥量は何kgになるか、それぞれ答えなさい（施肥量は100kg単位で答える）。

- ③ 以上を踏まえて、近年の肥料価格の上昇、農産物価格の上昇が日本の食料需給にどのような影響を与えるか、あなたの考えを述べなさい。

- 3) 農産物価格は一般的に変動が激しいと言われる。その原因は供給面、需要面両面にあるが、価格変動を激しくしている要因を供給面、需要面から説明しなさい。

- 4) 近代的な農業発展は、「効率性」を過度に重視するあまり、環境と調和しない事態を生み出すことが少なくない。そのメカニズムを「経済、技術、環境」の相互関係を念頭に入れて整理し、打開策を論じなさい。

施肥量と収穫量
との関係

施肥量(kg)	収穫量(kg)
0	300
100	380
200	450
300	510
400	560
500	600
600	635
700	665
800	690
900	710
1,000	725

注) 面積10a当たりの
数値である。

食料経済学出題意図

1

- 1) 農業経済学に関する基礎知識を問う。
- 2) ミクロ経済学に関する基礎知識を問う。
- 3)、4)、5) 食料、農業に関する政策、組織などに関する基礎知識を問う。

2

- 1) 2024 年度に改正された農政の憲法と言われる食料・農業・農村基本法の改正の論点に関する理解を問う。
- 2) 農業経済学の中でも重要な概念である昇格低減の法則の理解とそれを利用した計算・分析能力を問う。
- 3) 農産物市場に関する基礎的な理解を問う。
- 4) 農業における「経済，技術，環境」の関係についての基礎的な理解と考察の能力を問う。